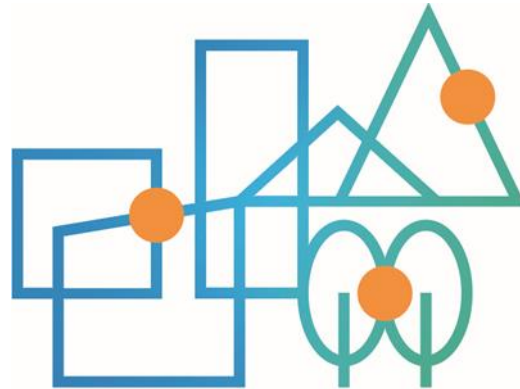


脱炭素先行地域事業 進捗報告



脱炭素先行地域
千葉市

脱炭素先行地域とは

- 環境省が進めている事業であり、2050年カーボンニュートラル（脱炭素）に向けて、**2030年度までに家庭部門や業務部門の電力消費に伴うカーボンニュートラル（脱炭素）を実現する地域**
- 現在、第6回までの選考で応募302提案の中から90提案が選定（3提案が辞退）

年度別選定提案数（共同で選定された市町村は1提案としてカウント、括弧内は応募提案数）

R4		R5		R6	R7
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
25	19	16	12	9	7
(79)	(50)	(58)	(54)	(46)	(15)

※赤字下線は第6回選定対象団体

中国ブロック(12提案、2県15市町村)
鳥取県 鳥取市、米子市・境港市、
倉吉市他2町・鳥取県
島根県 松江市、邑南町
岡山県 瀬戸内市、真庭市、西粟倉村
広島県 東広島市・広島県、**北広島町・広島県**
山口県 下関市、山口市

九州・沖縄ブロック(14提案、3県32市町村)
福岡県 北九州市他17市町、福岡市、うきは市
長崎県 長崎市・長崎県、五島市
熊本県 熊本県・益城町、球磨村、あさぎり町
宮崎県 **宮崎市・宮崎県**、延岡市
鹿児島県 日置市、知名町・和泊町
沖縄県 宮古島市、与那原町

北海道ブロック(7提案、7市町)
札幌市、苫小牧市、石狩市、厚沢部町、
奥尻町、上士幌町、鹿追町

中部ブロック(12提案、2県17市町村)
富山県 高岡市
福井県 敦賀市、**池田町・福井県**
長野県 松本市、上田市、飯田市、
小諸市、生坂村
岐阜県 高山市
愛知県 名古屋市、岡崎市・愛知県
三重県 度会町他5町

四国ブロック(5提案、1県6市町村)
高知県 須崎市・日高村、北川村、梶原町、
黒潮町
愛媛県 **今治市・愛媛県**

東北ブロック(12提案、4県13市町村)
青森県 佐井村
岩手県 宮古市、久慈市、陸前高田市・岩手県、
釜石市・岩手県、紫波町
宮城県 仙台市、東松島市
秋田県 秋田県・秋田市、大湯村
山形県 **米沢市・飯豊町・山形県**
福島県 会津若松市・福島県

関東ブロック(16提案、1県17市町村)
茨城県 つくば市
栃木県 宇都宮市・芳賀町、日光市、
那須塩原市
群馬県 上野村
埼玉県 さいたま市
千葉県 **千葉市、市川市、匝瑳市**
神奈川県 横浜市、川崎市、小田原市
新潟県 佐渡市・新潟県、関川村
山梨県 甲斐市
静岡県 静岡市

近畿ブロック(10提案、1県10市)
滋賀県 湖南市・滋賀県、米原市・滋賀県
京都市 京都市
大阪府 大阪市、堺市
兵庫県 神戸市、尼崎市、加西市、淡路市
奈良県 生駒市

- 「行きたい」「住みたい」「安心できる」千葉市を実現するため、2つのエリアと市有施設や一部のコンビニ等の施設群を先行地域として設定しました。

① グリーン・MICEエリア

(都市エリア 幕張新都心)

- 「幕張メッセ」、「ZOZOマリンスタジアム」、「イオンモール幕張新都心」など、日本有数のMICE施設や商業施設を対象として構成されるエリア
- MICE施設の脱炭素化やナッジを活用した行動変容施策等により、脱炭素ブランディングを確立し、国際会議等の更なる誘致により交流人口を増加

② グリーン・ZOOエリア

(自然エリア 動物公園周辺)

- 「動物公園」、千葉都市モノレールの「動物公園駅舎」と新築のZ E H住宅で構成されるエリア
- 「公園・交通・住宅」という住環境一体で脱炭素化に取り組み、住民生活の質の向上を実現
- 脱炭素化された住環境を提供する本市のシンボリックな存在とし、他エリアに波及させることで定住人口を増加

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

(施設群 市内全域の公共施設、一部のコンビニ等)

- 公共施設及びコンビニなど地域に密着した施設が対象
- 再エネの地産地消や脱炭素に向けた行動変容の取組を実施することで、市民参画を促すとともに、啓発活動を推進し、脱炭素への理解や関心を深める。加えて、災害時のレジリエンスを強化

①グリーン・MICEエリア

施設・イベント等の脱炭素化

- ✓幕張メッセのLED化
→R6 = 360台のLED照明を設置
R7年度以降も順次、設置を拡大予定
- ✓MICE脱炭素化に対する支援
→ R6補助金採択 = 4件



©Japan Drone / 次世代エアモビリティEXPO 2024会場写真

行動変容の促進

- ✓市内イベントにおいて、バイオマス燃料として活用するための割りばし回収を実施

<R6年実施イベント（全4回）>

- ・第49回千葉の親子三代夏祭り（8月）
- ・X Games Chiba 2024（9月）
- ・ジェフユナイテッド市原・千葉 SDGsイベント（9月）
- ・第32回稲毛区民祭り（10月）

割りばし回収の様子及び回収ボックス



②グリーン・ZOOエリア

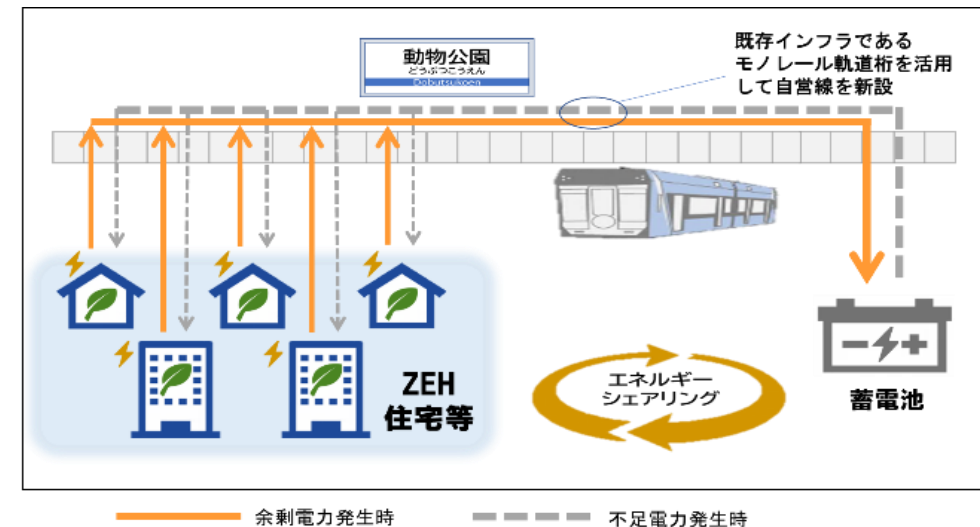
🏠 エネルギーシェアリングタウンの整備

- ✓R10年度の完成を目指し、
開発許可手続・埋蔵文化財調査等を実施中

🌳 動物公園での取組み

- ✓太陽光発電設備・蓄電池の導入
→R6＝太陽光発電:14.4kW、蓄電池:16.4kWh
動物公園（管理棟）に導入
- ✓バイオマス熱ボイラーの導入
→R6＝事業者選定
R6～R8年度で設計・設備導入（DB方式）

エネルギーシェアリングタウン イメージ図



③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

市有施設への太陽光発電設備・蓄電池の導入

- ✓ R6 = 太陽光発電: 2,202kW、蓄電池: 131kWh
※ オンサイトPPAにて、市有施設9か所に導入
- ✓ 上記PVのうち南部浄化センター = 1,690kW
※ 野立て型、屋根置き型、カーポート型の3種類の設備
- ✓ R7年度以降も、設置可能な市有施設に導入を進める



営農型太陽光発電設備の導入

- ✓ R6 = 555kW
※ オフサイトPPAにて導入
- ✓ R7・8年度の追加導入に向けて調査・設計を実施中



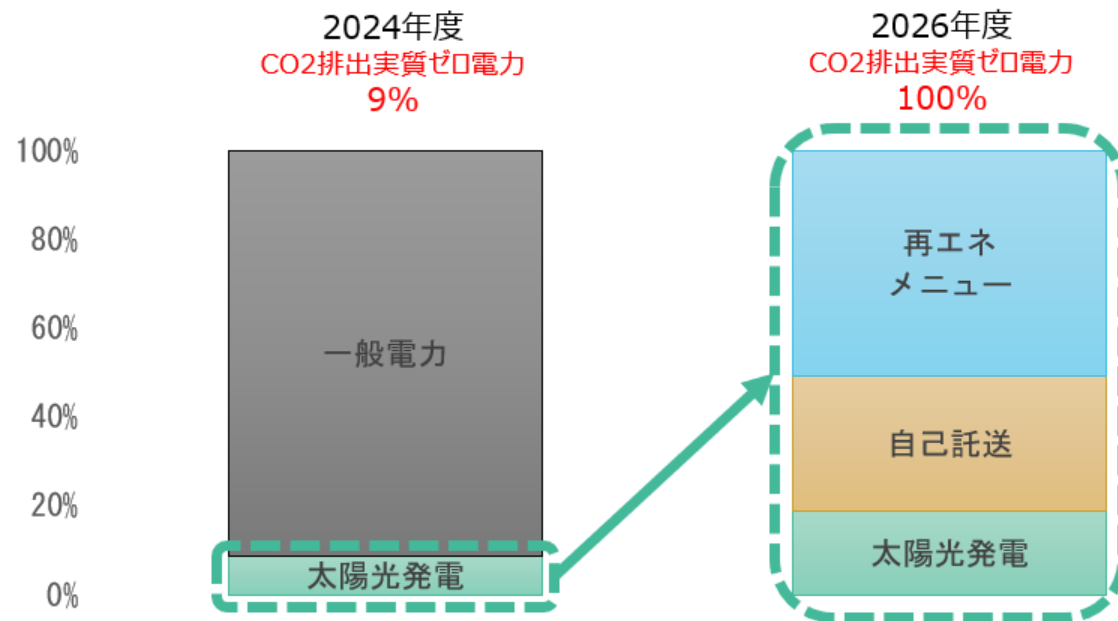
公用車のEV化、EV充電器の導入

- ✓ R6 = 電動車を54台導入（公用車）
- ✓ R7 = EV充電器27台導入予定
※ 本庁舎における公用車用として

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

市有施設の使用電力のゼロカーボン化

- ✓ 現在契約している電力を、R8年度から太陽光発電、清掃工場廃棄物発電電力の自己託送、再生可能エネルギーで発電した電力メニューに切り替え、CO2排出実質ゼロ電力100%を達成します。
- ✓ 自己託送等により小売電気事業者への電気料金支出が減ることから、電力コスト削減効果を見込んでいます。
- ✓ 市有施設全体の電力需要量と、太陽光発電や廃棄物発電における発電量を一元管理するシステムについても、令和8年度から稼働予定



※清掃工場で発電した電力のうち、清掃工場使用量および清掃工場から自営線で供給している分については除外

コンソーシアムの目的

多様な主体の積極的な参画や連携を促し、再生可能エネルギーの導入や地産地消、市民や事業者などの行動変容の促進等に取り組むことによって、**脱炭素先行地域づくり事業を推進し、もって市域における「環境と経済の好循環」及び「環境とレジリエンスの同時実現」を図ることを目的**としています。

官民連携した啓発活動の実施

脱炭素先行地域事業を広く知っていただくため、官民連携した広報活動・啓発活動を行っており、令和6年度は以下の取組みを実施しました。

- ・エコメッセちばへの出展
- ・金融機関等サイネージでの動画放映
- ・小学校への出前授業

会員一覧（2025年11月1日現在）

